

質問事項		選択式回答	記述式回答
経済動向			
1-1	現在の経済状況について、関連する業界、地域等の現状やご自身の知見・経験等を踏まえ、3か月前(5月下旬から6月上旬)と比べて①良くなっているか、②悪くなっているか選んでいただき、その理由をデータや具体的な事例とともに300字以内でご記入ください。	良くなっている	飲食業界に限定するとぐるなび加盟飲食店約3千5百店舗への4月～7月の景況感調査によれば、前年同月比の景気動向指数(Diffusion Index、DI)は概ね良好だがその推移はほぼ横ばいであった。具体的には各月のDIは、4月25.5%、5月20.8%、6月はいったん落ち込み4.4%、7月17.3%であった。6月の売上減の理由の第一は、梅雨やゲリラ豪雨などの影響との回答が出ている。6月のみ増税が売上減の第5位の理由にあがった。また別途実施した飲食店向け調査では、良質な食材によるメニュー提供、外国人客対策が増税対策の良策との回答が多かった。また高級店にとって政府の交際費対策が奏功したと思われる。
1-2	今後の経済のリスク要因について、300字以内でご記入ください。	—	現在政府が進める改革案が計画通りに実行されないこと。例えば、個人情報保護法案の改正が大綱案に従って進まないこと、またマイナンバー制度の法案が成立しながらも推進がされないことなどがリスク要因として考えられる。
景気回復の拡大に向けた取組			
2-1	安倍内閣の目指す、経済の好循環シナリオについて、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。	—	法人の交際費等の損金不算入制度に関する規定の改正は飲食業界にとって一つの好循環シナリオになったと考える。当社調査によると客単価が5000円以上の飲食店の景気動向指数(DI)は、4月の増税タイミング後にいったん全体平均を下回ったものの、増税2か月後の6月には再び全体平均を超えた。伸び幅も客単価8000円以上の店舗が一番大きかった。
2-2	設備投資・企業収益、賃金・雇用、そして消費の拡大について、それぞれ進展しているとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。 ①設備投資・企業収益の増加		(この質問については特にコメントございません)

質問事項		選択式回答	記述式回答
2-2	②賃金上昇・雇用拡大	Yes	ぐるなび加盟飲食店へのヒアリングによれば、人手不足によるランチタイム営業の中止など、経営への悪影響が出ている声が聞かれる。店舗運営のため、時間給与の上昇を実施している店舗がある(しかし、それでも採用は困難との声もある)。別途実施した加盟飲食店へのアンケート調査によれば、上半期の業績に対するマイナス要因として、人材不足・採用難が33%と最も高く、人件費上昇についても約13%の店舗がマイナス要因と回答している。
	③個人消費の拡大	No	ぐるなび会員むけに実施した月間外食費調査によると、前年対比で増税の影響等について特に拡大と呼べる大きなトレンドの変化は見られず、昨年同等程度で推移している。別途実施した生活者むけアンケート調査によれば、約60%が増税後の暮らしは変わらないと回答し、増税後の外食回数や外食費についても60%以上の生活者があまり変わらないと回答している。
2-3	<p>昨年、経済の好循環に向けて、政労使会議が立ち上がり、「経済の好循環実現に向けた取組」との文章がまとめられました。</p> <p>その中に記載されている4つの取組(賃金上昇、中小企業等支援、非正規雇用労働者の処遇改善、生産性向上・人材育成)について、取組が進んでいるとお考えになるか、「Yes」、「No」で選び、その理由及び今後の課題等を300字以内でご記入ください。</p>		(この質問については特にコメントございません)
自由テーマ			
3	<p>その他、政府の政策課題等について、ご意見があれば、300字以内でご記入ください。</p>	—	<p>公共空間へのパブリックアート設置を推進すべく、欧米では50年前から韓国・台湾でも数年前から採用される公共工事費の1%を芸術・文化の予算にあてる1%フォー・アーツの制度化を検討したい。パブリックアートは目にする人々に無意識のうちに文化・芸術の価値観を育み、精神的に豊かな社会の実現に寄与する。また、日本が持つ文化の高い価値を世界にアピールし、経済だけでなく文化・芸術の面でも尊敬される日本づくりにも貢献する。オリンピック・パラリンピック開催へ向け、世界からわが国は今以上に注目され、訪日客も増加していく。この機に、駅や空港等の質の高いアートが作る豊かな公共空間によって文化国家としての日本を発信したい。</p>